

# 二学年通信 (第4号)

泉松陵高校第二学年  
2015.5.27

## 2 学年第 1 回スタディーサポート 二学年主任 小野木 徹

3月に実施したスタディーサポートの結果に関しては、個人成績として4月下旬に担任の先生から渡されたはずですが、その際に配布された『スタディーサポート 個人診断レポート』の10ページからは、各教科の「弱点克服ワーク」が掲載されています。まだ取り組んでない者は、今後しっかりと取り組んで学力の向上につなげましょう。定期考査もそうですが、試験というものは「やりっぱなし」ではいけません。復習こそが自分の力になります!

2年生の生活がスタートして約2ヶ月、自分が何を為すべきかということを知覚し、他人の成績と比較するのではなく、自らの成績を前回のテストよりも向上させていくという意識をもつことが大切です。**学問は、あくまでも自分自身との戦いです。**

### 各教科担当の先生方からのアドバイス

#### 国語

「現代文・評論読解」があまりできていません。本文が慣れていない文章であり、また、傍線D付近の論理がわかりにくいのですが、もう少し得点してほしいところです。添削指導を受けたり、数多くの文章に触れたり、自分から進んで問題集を解いたりする必要があります。

「現代文・小説読解」も、もう少しできそうなものです。全般的に文章の読解力が低いんです。自分たちの読解力が低いことについて、皆さんがどう考えているのか心配です。今、書いているこのアドバイスも読解できないのではないかと、むなしくなっています。そんな読解力が低いのに、どうして添削指導を受ける人が少ないのか、理解に苦しみます。自分なりに読解力をつけるために何か努力しているのでしょうか。読解力の低い人は、はっきり言って周囲に迷惑をかけたままです。(なぜなら、人の言っていることや書いていることを読解できないのですから。)もっと、世のため人のために、現代文に真剣に取り組んでほしいと思います。

古典も古文・漢文とも勉強不足です。解答番号 34 の「いらへ」は、一年生の時に習った「児のそら寝」に出てきています(ただ一度にいらへむも、待ちけるかともぞ思ふとて、いまひとこゑ呼ばれていらへむと.....)。それなのに、正答率は 27.2%、約四分の一です。こんな状態なのに、君たちの平日の家庭学習時間はたったの40分です。

このままの勉強量では、まさに「つける薬がない」という状態になります。少しは反省してください。

#### 数学

数と式や2次関数の基本の正解率が5割を切っています。また、図形と計量の基本も3割を切っており、1年の定期考査でできなかったところがそのまま出ています。日ごろから、1年時の復習をすることが必要ですが、そのためには一日当たりの学習時間を1時間以上増やさなければなりません。

やっていない生徒には当然の結果と言えるでしょう。

#### 英語

まず、英語に対する学習時間に関しては、平日、休日共に昨年より減っているのが現状

である。効率よく学習するのが最善ではあるが、最低限の時間は割かなくてはならない。平日20分、休日32分では足らな過ぎる。英語は文理共通なので、物理的な時間をもっと確保してもらいたい。

次に、平均正解率だが、ここ3年のデータで最低の結果である。この結果を真摯に受け止め、更に努力しなければならない。

苦手分野に関して、今回、語彙数不足の指摘があった。いわゆる単語力不足である。これは教科書内の単語のみならず、最低でもコーパス一冊丸暗記する位の意気込みが欲しい。去年の学年集会で話したことを覚えて、実践している生徒はいるだろうか? 模擬試験で分からなかった単語、熟語を調べて書いておく単語帳を作りなさいという内容であった。単語、熟語の数を増やし、文法事項を把握し、長文を読解するというように、英語の力を伸ばすためには、このような作業を地道にコツコツと継続してやる事が必須である。栄光をつかみなければやれるしかない。

2015年度 スタディーサポート 2年生1回		2014年度 2年生 2回										2014年度 スタディーサポート 1年生 2回				
		D3	D2	D1	C3	C2	C1	B3	B2	B1	A3	A2	A1	S3	S2	S1
S1	0	3人 成績上昇グループ										16人 前回・今回とも成績上位グループ				
S2	0															
S3	0															
A1	0															
A2	0															
A3	0															
B1	0															
B2	6				2		3	1								
B3	13				2	1	5	5								
C1	44			8	12	14	8	2								
C2	35			2	12	10	3	7	1							
C3	69	1	3	12	26	18	5	4								
D1	51	1	5	13	12	15	2	2	1							
D2	23	1	2	8	6	1	3	2								
D3	38	3	6	13	12	2	1	1								
合計	279	6	16	48	76	60	29	31	12	1	0	0	0	0	0	
232人 前回・今回とも 成績下位 グループ	合計															

自分がどの位置に居るのかを、上記グラフで確認してみよう! 斜めの網掛部分より上の人、前回(1年生8月実施のスタサポ)から成績が上がっていることとなります。今回の成績が**Dランク(D1~D3)の者は、大学進学が極めて難しい状態**にあります(今回Dランクの者は70名)。まずは、Cランクへの上昇を目指してみましょう!